

# 保育闘争委員会ニュース 公的保育を守り拡充させよう

2010年  
12月8日(木)  
第16号

発行 = 東京自治労連保育闘争委員会 Tel.03-5940-7951 Fax.03-5940-7957 honbu@tokyo-jichiroren.org

## 新システムワーキンググループ

# 株式会社の参入促進の方向検討

12月6日、政府の「子ども子育て新システム検討会議」の基本制度ワーキングチームの会合が内閣府で開催されました。事務局では、「多様な保育サービス」に参入する事業主体について、指定基準を満たした事業者を公的給付の対象とするとともに、利益を他の事業に繰り入れることを認める方向を示しました。また、「新システム」では運営費と施設整備費を一体のものとして給付の対象にし、株式会社にも施設整備費を支給する方向となっています。

これまで、株式会社の保育への参入の障害となっていた、「利益を他の事業に回せない」「施設建設に公的補助がない」との2つを取り払う内容となっています。保育分野に株式会社の広範な参入を呼び込むものとなり、このまま制度化されれば、保育を金儲け、市場に委ねるようになります。

## 内閣府前・緊急宣伝行動

12月6日、自治労連・福祉保育労・全教・全保連・新婦人など15団体でつくる保育制度の解体を許さず保育の公的保障の拡充を求める大運動実行委員会は、「子ども・子育て新システム」「基本制度ワーキングチーム」の検討会開催に合わせ、内閣府前にて緊急宣伝行動を行い、約50人が参加しました。



内閣府前では、現場の保育士さん、学童保育の指導員さんなどが次々とリレートークを行い、自治労連からも茨城、東京から発言しました。

「役所へ保育所入所の申請に行くだけでもたくさんの人が順番待ちをされていて数時間かかるような状況」「新システムが導入されたら、手のかかる子どもはオプション代を取られるのでしょうか」など、現場では新システムの導入に対して不安を抱く保護者の声も寄せられています。また、「幼保一体化ワーキングチームは幼保一体化の目的を『世界に誇れる幼児教育』とうたっているが、待機児問題を解決するには現行の公的保育制度を守り、充実させることが本当に世界に誇れる幼児教育につながるはず。質の高い保育をすすめていきたい」「新システムの内容を知らせながら反対するとりくみを大きくしたい」など、次々と切実な訴えが語られました。

障全協の方も駆けつけ、「社会保障がどんどん保険化してきている。自己責任への流れを食い止めるためにも新システムの導入は絶対に阻止しなくてはならない」と発言しました。

最後は「子ども・子育て新システム反対」、「現行保育制度守れ」、「最低基準を引き上げろ」、「保育所つくり待機児解消しろ」とワーキングチームに聞こえるような大きな声でシュプレヒコールを行い、宣伝行動を終了しました。(自治労連速報3412号より)

## 江東区職労

# 都住自治会、保護者から力強い協力

江東区職労は、保育労働者一人 50 筆目標の署名活動と、各園で保護者との学習会を開催しています。大島 9 丁目の都営住宅に併設するわかば保育園では、職員全員で署名活動と学習を取り組んでいます。

11 月 24 日上階の住民向けに署名活動を行いました。まず「いつもお騒がせしております」とあいさつしながら内容を話すとその場で快く応じていただき、約 100 筆集まりました。留守宅には、署名と再度伺うビラを投函し、再度伺いました。何人もの方がわざわざ署名を届けてくださり、全体で 160 筆も集まりました。自治会にお願いしたり、事前ビラを配布しておいたり、なにより毎年恒例になっているので、気軽に応じてもらえ、今年は例年になく多く集まりました。

26 日は、父母の会との共催で学習会を開催。父母の会会長の手製ポスターやビラで全家庭に呼びかけして 2 回に分けて行いました。「新システムはどのようなものか」現在の公的保育制度と比較しながらの話と、保育士の寸劇で行うとみなさん真剣な表情でうなずきながら聞いていました。「どうしたら止められるのか」という質問に、署名で世論を広げましょうと提起し、現在ぞくぞくと集まっています。また「もっと署名用紙を下さい」というお母さんの声もあり、職員は励まされています。

毎年、父母の会と公的保育を守る園内学習会を行っていますが、今年は今まで以上に沢山の保護者の出席と、署名の取り組みに職員も元気をもらって運動に力が入っています。

### <保護者の感想>

当日は先生方より、現状の制度との違いを含めてお話していただいたので、とてもわかりやすく問題点がよくわかりました。特に個人的には、先生方の寸劇がとてもわかりやすく印象に残っています。さすが先生！こうして子どもの心をつかみ、その子どもの成長に合わせて大切なことを伝えてくださっているんだな・・・と寸劇を見ながらふと感心してしまった私です・・・

いつもありがとうございます。先生方と一緒にこうして学習会ができることも貴重なことです。署名の大切さも改めて実感しました！！

**【傘下の組織や保育関係者に配信・配布してください。配信希望者は氏名と所属、「保育闘争委ニュース希望」と明記し、パソコンよりメールでお申し込みを。内容を圧縮した「携帯メールニュース」も希望者に配信中。職場委員さんなどにも広めてください。携帯からメールでお申し込みを。申し込みアドレスはニュースの冒頭のメールアドレス宛に】**